

和歌山だよい

平成27年1月号
(2015)



藤白神社 (海南市)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P8
3. お知らせ…………… P9～P10
4. ふるさと歳時記…………… P11～P12

今年は、いよいよ「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」の開催です。本年もよろしくお願いいたします。



あけましておめでとうございます。

謹んで皆さんに新春のお慶びを申し上げます。

去る11月30日の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様の御支持をいただき、引き続き県政の舵取りをさせていただくことになりました。私がこれまで県民の皆様の御支援、御協力をいただきながら進めてきた県の政策に、多数の御支持をいただけましたことは、本当にありがたいことだと思えます。

これまで2期8年間、東日本大震災を教訓とした全国トップレベルの防災対策を進めるとともに、「命の道」「チャンスの道」となる道路インフラ整備を着実に進めて参りました。紀伊半島大水害の復興も概ね完了し、地域も元気を取り戻してきました。また、産業の振興にも全力で取り組み、130社を超える企業を新たにお迎えすることができました。さらに、医療や高齢者対策、少子化対策で新機軸を打ち出すとともに、教育の充実、財政健全化など県政の改革を進めてきたところです。

しかし、和歌山県の現状は、決して手放しで喜べるような状況ではありません。経済活性化や地震・津波対策など課題が山積しています。高齢化も確実に進み、都市部の疲弊にも歯止めをかけなければなりません。このような課題に果敢に挑戦し、大きな花を咲かせるようにしたいと考えています。

そして、いよいよ今年は「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」です。多くの方が夢と感動を共有できるよう、県民総参加で盛り上げ、国体での男女総合優勝を目指します。さらに、来県される方々に気持



新春インタビューにて

よく過ごしていただく「おもてなし」運動にも一層取り組んで参ります。

今年も一年、創意工夫の政策で和歌山県の更なる発展へ繋げるとともに、皆様の温かな笑顔溢れる年になるように全身全霊で挑みます。

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●アイスホッケー競技で33年ぶりの近畿ブロック予選突破、国体への出場権獲得

・11月30日、国体冬季大会のアイスホッケー競技の近畿ブロック予選が滋賀県において開催され、和歌山県チームが、滋賀県チームに4-0で勝利を収め、33年ぶりの国体出場を決めました。

・長年、選手が揃わず近畿ブロック予選にも出場できていませんでしたが、平成22年に就任した津田兼司監督らが中心となって各地にスカウトに出向き、「近畿ブロック予選突破！」を目標に新しいチームを立ち上げ、取り組んできました。

・県内にはアイスリンクがなく、選手たちは仕事を終えた深夜、近隣府県のアイスリンクで個人練習やチーム練習に汗を流してきました。恵まれない競技環境の中、努力と工夫を積み重ねての目標達成となりました。

・予選当日は、県から約300人の大応援団がアウェイとなる滋賀県まで応援に駆け付け、スタンドから熱い声援を送りました。まさに、選手とスタンドが一体となって勝ち取った勝利です！また、冬季大会の得点が、「紀の国わかやま国体」の総合点に加算されるため、男女総合優勝に向けて大きな励みとなり、また、勢いづく勝利となりました。

・1月28日から群馬県で開催される「2015ぐんま冬国体」での活躍も期待されます。皆さんの熱い応援をよろしくお願いします。



●世界体操競技選手権大会でメダル獲得の 田中 佑典選手が知事を表敬訪問！

・12月15日、第45回世界体操競技選手権大会(平成26年10月：中国の南寧)において、メダルを獲得した県出身の体操競技選手 田中 佑典選手が、父 章二さん(県体操協会副理事長)、姉 理恵さんらとともに、知事を訪問しました。

・現在、(株)コナミスポーツ&ライフに所属する田中佑典選手は、ロンドンオリンピックでは、男子団体総合において銀メダルを獲得しました。そして、昨年の世界選手権においても、団体で銀メダル・個人総合で銅メダルを獲得しました。

・仁坂知事は、お祝いの言葉とともに「世界大会はTVで念じながら応援していた。次はリオデジャネイロオリンピックを目指して頑張ってください。」と激励し、田中佑典選手は、「念が届いた。体操界も年下の年代が伸びてきたので負けなように頑張る。」と今後の抱負を述べました。

・なお、田中佑典選手は、12月13日、14日に愛知県豊田市で開催された「豊田国際体操競技大会」においても、平行棒で優勝、鉄棒で2位に輝いています。

・県では、田中きょうだいのますますの御活躍を期待し、応援していきます。



●「きいちゃんステーション」1日店長に 田中 和仁選手が就任！

・12月14日、きいちゃんグッズの販売や「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」の情報発信を通じて両大会の盛り上げを図るためにJR和歌山駅の商業ビル「和歌山ミオ」に設置されている「きいちゃんステーション」の1日店長に、体操競技オリンピックメダリスト 田中 和仁選手が就任しました。



・「田中3きょうだい」の長兄で、現在、徳洲会体操クラブに所属する田中和仁選手は、ロンドンオリンピックに、妹理恵選手、弟 佑典選手とともに出場し、男子団体総合において銀メダルを獲得しました。



・来店者との握手や記念撮影等のふれあいコーナー、きいちゃんグッズ購入者を対象とした抽選会など、多くの買い物客が詰めかけ賑わう中、さらに、サプライズゲストとして妹の理恵さんも来店され、一段と盛り上がりを見せました。2人は来店者に、「きいちゃんグッズで両大会を盛り上げましょう！！」と呼びかけるなど、両大会を大いにPRしていただきました。

・きいちゃんステーションでは、常設店舗のほか移動販売やオンラインショップにより、今後も両大会開催に向けた気運の醸成に取り組んでいきますので、皆さんもかわいい「きいちゃん」グッズを、是非お買い求めください。<http://station.kokutai-wakayama.jp/>

●「きいちゃん」のLINEスタンプ完成！

・12月12日から、いよいよ今年開催の「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」に向け、多くの皆さんに両大会への関心を高めていただくため、大人気アプリ「LINE」のスタンプに両大会マスコット「きいちゃん」を登録して販売を開始しています。

・デザインは40種類あり、税込100円となっています。売上金(LINEへの分配金を除く)については、両大会運営経費に充てられます。スマートフォンでLINEを利用されている方は、かわいい「きいちゃん」スタンプをお楽しみください。



●第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会の壮行式を開催

・12月17日、和歌山市のアバローム紀の国において、「全日本バレーボール高等学校選手権大会」に出場した開智高校(男子：20年連続20回目)と和歌山信愛高校(女子：3年ぶり30回目)の健闘を祈念して壮行式を開催しました。

・仁坂知事は、「大会での活躍を楽しみにしている。両校の3年生は高校生活最後の大会で有終の美を飾れるよう頑張ってもらいたい。」と激励し、紀の国わかやま国体マスコットキャラクター「きいちゃん」も応援に駆け付けました。

・選手を代表して開智高校 米澤 寛武主将は、「高校総体は3位、国体は初戦敗退であり、日本一という目標が達成できていない。今大会はチーム一丸となって、和歌山に日本一の報告ができるよう頑張る。」、和歌山信愛高校 辻 美咲主将は、「2年間悔しい思いをした分、全力でプレーする。県代表という自覚を持ち、期待に応えられるよう頑張る。」と、それぞれ大会に向けて力強く抱負を述べました。

・大会は1月5日から、東京体育館(東京都渋谷区)において開催され、和歌山信愛高校は1回戦で米沢中央高校(山形県代表)と対戦し、残念ながら初戦敗退となりました。第3シードとなった開智高校は2回戦から登場し、日向学院高校(宮崎県代表)に2-1で勝利しましたが、続く3回戦で創造学園高校(長野県代表)に0-2で惜しくも敗れました。



●東京レザーフェアに県内企業が出展しました

・12月4日と5日の2日間、東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区)において開催された「東京レザーフェア」に、県製革事業協同組合加盟の以下の企業が出展しました。

・県では、主要地場産業である皮革産業振興の一環として、県内皮革生産者の優れた技術・製品の販路開拓、販売促進に関する支援を行っており、2015・16年秋冬シーズンに向けて、国内皮革関連業者が新素材や製品等を出展する国内最大のこの皮革見本市に、県製革事業協同組合と共同で出展したものです。

・全国から49社9団体が出展し、4,945人の来場者で賑わう中、県内企業もエナメルや草木染めなど特色のある自社製品を大いにPRし、新たな販路開拓のきっかけとなりました。



企業名	所在地	企業名	所在地
森久工業	和歌山市	(有)トミタ工業	和歌山市
(有)大星産業	和歌山市	(株)藤本安一商店	和歌山市
(有)ハヤシ	和歌山市	協業組合正和	和歌山市
和歌山工芸革協業組合	和歌山市	(株)上忠	和歌山市
坂口皮革工業所	和歌山市	正揮皮革工業所	和歌山市

●きのくにロボットフェスティバル2014を開催！

・12月14日、御坊市立体育館において、「きのくにロボットフェスティバル2014」を開催しました。この大会は、子どもたちがものづくりの楽しさを実感し、将来ものづくりに携わる人材として活躍することを期待して平成19年度から開催しているもので、今回で8回目となりました。開会式において、仁坂知事は「名実ともにロボットの甲子園にしよう。各校の代表選手をしっかりと応援しよう。」と挨拶しました。



・今回は小中学生合わせて72チームの参加があり、近畿各府県をはじめ、三重、岐阜、徳島、そして今回から初めて参加の栃木、島根(小学生のみ)の各県予選会を勝ち抜いたチームによる全日本小中学生ロボット選手権が実施されました。また、県内の競技会から選抜された高校生による、自作ロボットの性能・操作を競うトーナメント「きのくに高校生ロボットコンテスト」も実施され、会場には、出場各校から多くの応援団や観客が訪れ、ロボットの熱戦に大きな声援が送られました。



・競技の合間には、独立行政法人 産業技術総合研究所の「ヒューマノイドロボット」による起き上がり・寝転び・受身の動作等の実演ショーや消防庁の「消防用偵察ロボット」によるデモンストレーション、全国高専ロボコン優秀チームによる実演など、最先端のロボットのパフォーマンスに会場からは歓声が上がっていました。

・なお、小学生の部、中学生の部とも和歌山県の代表が、見事優勝を果たしました。試合結果は以下のとおりです。

◎全日本小中学生ロボット選手権の試合結果

賞	【小学生の部】		【中学生の部】	
	選手名	学校名	選手・チーム名	学校名
優勝	生地 巧	紀の川市立池田小学校	粉河中技術部	紀の川市立粉河中学校
第2位	関本 恭悟	紀の川市立池田小学校	吉村 晴也	大和郡山市立片桐中学校
第3位	新福 大貴	西宮市立鳴尾北小学校	R X-78	和歌山県立古佐田丘中学校
第3位	鍵本 陸斗	奈良市立鳥見小学校	瀬野 克基	北島町立北島中学校
アイデア大賞	磯 知希	御坊市立御坊小学校	T S1	和歌山県立田辺中学校
デザイン大賞	関本 恭悟	紀の川市立池田小学校	山田 安莉	大和郡山市立片桐中学校
省エネ大賞	鶴本 聡馬	小松島市立南小松島小学校	上垣 柊季	養父市立大屋中学校
レスキュー大賞	松岡 空良	寝屋川市立中央小学校	中西 奎太	美浜町立松洋中学校
イノベーション大賞	芦田 翔太	出雲市立西野小学校	パラドクス	和歌山県立向陽中学校
ものづくり大賞	生地 巧	紀の川市立池田小学校	吉村 晴也	大和郡山市立片桐中学校
ドリーム大賞	前田 龍都	田辺市立会津小学校	新福 一貴	西宮市立学文中学校
まいど1号大賞	五十嵐 聖	名張市立つつじが丘小学校	瀬野 克基	北島町立北島中学校

◎きのくに高校生ロボットコンテストの試合結果

賞	学校名	賞	学校名
優勝	県立和歌山工業高校	イノベーション大賞	県立和歌山工業高校
第2位	県立和歌山工業高校	ものづくり大賞	県立和歌山工業高校
第3位	県立和歌山工業高校	ドリーム大賞	県立紀央館高校
第3位	県立紀央館高校	まいど1号大賞	県立紀央館高校

●「和歌山なんだから、みかんをもっと食べようキャンペーン」を実施中

・12月17日から2月28日までの期間、「和歌山なんだから、みかんをもっと食べようキャンペーン」を実施しています。

・県産温州みかんの収穫量は平成16年から10年連続日本一を誇っているものの、全国の1世帯あたりの購入数量はこの20年余りで半分以下となっています。県内でも同様の傾向が見られ、日本一の県産みかんのPR・消費拡大を図るため、このキャンペーンを実施することとなりました。



・取組内容は、「職場でみかん」「会議でみかん」「学校でみかん」の3項目を掲げています。「職場でみかん」では、県庁内の課ごとに職員が積み立てた親睦会費等でみかんを購入することで職場にみかんを常置し、休憩時間帯に職員が消費しています。市町村に対しても、職場にみかんを常置して職員が休憩時間に食べたり、会議にみかんを提供するよう働きかけています。また、和歌山市に本社がある企業などを訪問し、消費拡大を依頼しています。

・「会議でみかん」では、県が主催する会議(県が主導する実行委員会等が開催する場合も含みます)において、飲料の代わりに県産の温州みかん(生果)を提供するほか、市町村や企業等へも働きかけています。この取組は、特に消費量が少なかった平成22年度、平成23年度にも実施しています。また、平成24年度から実施している「学校でみかん」では、県内すべての小学校と特別支援学校の児童分のみかんを提供します。

・皆さんも、是非県産のおいしいみかんをたくさん召し上がってください。

●県内小学校へ「みかん」を提供しました

・県では、和歌山のおいしい食材を子どもたちに知ってもらう地産地消の取組として、県内小学校・特別支援学校の給食や家庭科等の教材として使用する主要農水産物の提供を行っています。

・本年度の第5弾として、県内の国公私立小学校250校と特別支援学校12校に「みかん」を提供しました。

・また、農家の方や県職員が以下の学校に出向き、「みかんの生産状況」等について、子どもたちに説明する出前授業を行いました。出前授業を受けた子どもたちは、「とても美味しかった。」、「みかんにはたくさんの種類があることがわかった。」と話すなど、大盛況でした。



実施日	実施校名	実施日	実施校名
12月2日	岩出市立山崎小学校	12月3日	田辺市立中辺路小学校
	有田川町立田殿小学校	12月4日	日高川町立川辺西小学校
12月3日	和歌山大学教育学部附属小学校	12月5日	紀の川市立上名手小学校
	かつらぎ町立大谷小学校		

●「天空の聖地 高野山」特設ウェブサイトを開設

・12月15日から、県と県観光連盟では、今年、開創1200年を迎える高野山の観光情報を広く発信するため、「天空の聖地 特設ウェブサイト」を開設しています。

・このサイトでは、見どころやモデルコース、交通案内はもちろん、高野山の体験や宿坊への宿泊、高野山マップ等、観光情報を充実させています。また、高野山開創にまつわるエピソードや高野山の伝説スポット等の情報も盛りだくさんです。

・さらに、クーポン券利用で特典が受けられる県内93のグルメ・おみやげ施設や抽選で宿坊の宿泊券等が当たる女人高野スタンプラリーの紹介など、お得な情報も掲載しています。是非、和歌山県の観光にご活用ください。

<http://www.wakayama-kanko.or.jp/worldheritage/koyasan1200/index.html>



●「春姫・和歌山への400年ぶりのお里帰り」式典が開催されました！

・12月6日、和歌山城の天守閣前広場において、「春姫・和歌山への400年ぶりのお里帰り」式典が開催されました。この式典は、2015年が紀州浅野家から春姫が初代尾張藩主 徳川 義直公に嫁いで400年という節目の年に当たることから、名古屋城本丸御殿の早期完全復元を目指し、20年にわたり活動している名古屋市の市民団体「名古屋城文化フォーラム」の主催により開催されたものです。

・名古屋城文化フォーラムは、春姫を名古屋城復元を盛り上げる象徴的な存在として、毎年「春姫道中」の催しなどでPRしています。

・この日、同団体 夢童 由里子代表から愛知県知事の親書を受け取った仁坂知事は、「愛知県は和歌山県と縁のある地であり、現代においても、たくさんの和歌山県出身者が活躍されている。今後も絆を大切に交流を深めていきたい。」と述べました。

・その後、春姫に扮した 山田 梨紗子さんらにより、「まりと殿様」を含む琴の演奏が披露されるなど、和歌山県と愛知県の親交が深まる一日となりました。



●「和歌山県大気常時監視システム」の運用を開始しました

・12月1日から、県ではインターネットを通じて県内の微小粒子物質(PM2.5)等の大気汚染情報を提供する「和歌山県大気常時監視システム」の運用を開始しています。新た

今月の和歌山県政トピックス

に専用のホームページ(和歌山県の大気環境)を開設するとともに、PM_{2.5}注意喚起情報や1時間ごとの速報値をお知らせするメール配信サービスも開始しています。

・この取組は、平成25年1月頃からPM_{2.5}が社会問題化していることを受け、PM_{2.5}測定局5局を新たに設置し県内14局体制政で監視し、大気常時監視システムを更新してきました。大気環境情報を地図上で分かりやすく表示し、PM_{2.5}注意喚起や光化学オキシダント発令情報をトップ画面でわかりやすく表示しています。

・メール配信については、PM_{2.5}注意喚起と光化学オキシダント発令情報を、事前に登録いただいた携帯電話やパソコンに送っています。日常のPM_{2.5}、光化学オキシダント濃度を知りたい方には1時間ごとの速報値も配信しています。例年1月から春先にかけて、PM_{2.5}濃度が上昇しやすくなる傾向にありますので、運用を開始したホームページやメール配信を御活用ください。<http://taiki.pref.wakayama.lg.jp/>

●和歌山県土砂災害啓発センター(仮称)を着工します

・県では、平成23年台風12号紀伊半島大水害により甚大な被害を受けた那智勝浦町市野々地内に、この水害を教訓として土砂災害に関する研究及び啓発の拠点となる施設「和歌山県土砂災害啓発センター」(仮称)の建設を進めています。今年度内に着工し、完成は平成28年3月を予定しています。

・センターには、県と近畿地方整備局の職員が常駐するほか、国土技術政策総合研究所、(独)土木研究所、北海道大学、京都大学、三重大学、和歌山大学などの研究者も受け入れ、深層崩壊等の土砂災害の発生メカニズムや土砂災害と地下水含有量の関係などの研究を進め、レベルアップに努めていきます。

・このセンターは、紀州材も使用する木造2階建て延べ床面積492㎡で、1階はパネルや映像を使った啓発活動の拠点に、2階は土砂災害の研究活動の拠点となる予定で、研究と啓発を合わせた設備は全国で初めてとなります。



●博士号取得者を対象とした教員採用特別選考を実施します

・県では、将来の科学技術や地域産業を担うスペシャリストを育成するため、高度な専門的知識や技能を備えた博士号を有する人を、公立学校の教員として積極的に採用します。

・特長としては、博士号を持っていれば教員免許状がなくても受験可能とし、合格した場合は、県が特別免許状を発行します。一次検査においては、博士号を取得する過程で培った高度で専門的な知識経験を評価し、一般教養検査、教科専門検査を免除します。二次検査においては、実技検査で実践的指導力を評価するため、教職専門検査を免除します。

・採用は、高等学校の数学、理科、農業及び工業で、受験する教科に関連する博士号を有することはもちろんのこと、教員に必要な熱意と見識をもち、将来の科学技術や地域産業を担う科学的なものの見方ができる生徒を育てる人材を求めています。願書は来年5月上旬から配布されますが、詳しくは和歌山県公立学校教員採用候補者選考検査実施要項を御覧ください。<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500800/saiyou/27youkou.pdf>

平成27年の県内の主な行事予定

日程		行事名	場所	問い合わせ先
2月	中旬	久野原の御田舞 (西暦奇数年に開催)	有田川町・久野原	有田川町教育委員会 0737-52-2111
		市町村対抗ジュニア駅伝	和歌山市内	県スポーツ課 073-441-3695
	下旬	梅林満開	みなべ町・南部梅林	梅の里観梅協会 0739-74-3464
3月	上旬	雛流し	和歌山市・淡嶋神社	淡嶋神社 073-459-0043
	中旬	生石高原山焼き	有田川町・生石高原	有田川町商工観光課 0737-52-2111
	下旬	桜・舞・道成寺	日高川町・道成寺	日高川町観光協会 0738-22-2041
		桜祭り	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1022
4月	上旬	桃山まつり	紀の川市・ 桃山町民グラウンド	同実行委員会 0736-66-1100
		高野山開創1200年記念大法会 (4/2～5/21)	高野町・高野山	金剛峯寺 0736-56-2011
	中旬	平成27年は、弘法大師により、高野山に密教の道場が開かれてから1200年目を迎えます。この記念すべき年に、弘法大師が残した大いなる遺産へ感謝を込めて絢爛壮麗な大法会が執り行われます。		
5月	上旬	La Festa Primavera 2015	県内各地	和歌山市観光課 073-435-1234
		海開き	白浜町・ 白良浜海水浴場	白浜観光協会 0739-43-5511
	中旬	真田まつり	九度山町・入郷	九度山町商工会 0736-54-4268
和歌祭		和歌山市・ 紀州東照宮	和歌祭保存会 073-444-0808	
6月	中旬	中将姫来迎会式	有田市・得生寺	得生寺 0737-88-7110
		南高梅出荷ピーク	印南町・集荷場	J Aみなべいなみ 0739-72-2650
7月	中旬	那智の火祭り・那智の田楽	那智勝浦町・ 熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
	下旬	港まつり	和歌山市・和歌山港	港まつり実行委員会 073-432-3116
		粉河祭	紀の川市・ 粉河とんまか通り	粉河祭保存会 0736-77-2511

お知らせ

日程		行事名	場所	問い合わせ先
7月	下旬	白浜花火フェスティバル	白浜町・白良浜	白浜観光協会 0739-43-5511
		近畿高校総体(7/28~8/20)	和歌山市内	県実行委員会 073-441-3301
		近畿2府4県で開催される全国高等学校総合体育大会。県内では、総合開会式が実施されるほか、陸上競技、剣道、ヨットの各競技が実施されます。		
8月	上旬	紀州おどり ぶんだら節	和歌山市・ 和歌山城周辺	同実行委員会 073-435-1234
		おどるんや 紀州よさこい祭り	和歌山市内各所	NPO 紀州お祭りプロジェクト 073-426-4424
	中旬	万燈供養会(ろうそく祭り)	高野町・奥の院参道	高野町まち未来課 0736-56-2468
	下旬	八咫の火祭り	田辺市・大斎原	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
9月	上旬	キャンドルライト イルミネーション in あらぎ島	有田川町・あらぎ島	有田川町産業振興室 0737-52-2111
	下旬	紀の国わかやま国体 (9/26~10/6)	県内各地	同実行委員会 073-441-2015
和歌山の元気・活力・躍動感を全国にアピールするとともに、参加するすべての人が躍動し歓喜し、絆が深まるような大会を目指します。				
10月	上旬	御坊祭	御坊市・ 小竹八幡神社	小竹八幡神社 0738-22-0089
	中旬	笑い祭	日高川町・丹生神社	日高川町まちみらい課 0738-22-2041
		熊野速玉大社例大祭	新宮市・ 熊野速玉大社	熊野速玉大社 0735-22-2553
	下旬	稲むらの火祭り	広川町・役場前	広川町産業建設課 0737-63-1122
		和歌浦ベイマラソン with ジャズ	和歌山市・ 和歌山マリーナシティ	和歌山市スポーツ振興課 073-435-1364
		紀の国わかやま大会 (10/24~10/26)	県内各地	同実行委員会 073-441-2015
		障害のある選手が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、障害に対する理解を深め、障害のある方の社会参加推進に寄与することを目指します。		
11月	上旬	紀州漆器祭り	海南市・ 黒江川端通り	同実行委員会 073-482-0322
		太地浦くじら祭	太地町・ ふれあい広場	太地町産業建設課 0735-59-2335
	下旬	四郷串柿まつり	かつらぎ町・ 四郷地区	同実行委員会 0736-22-0550
12月	上旬	仙人風呂開湯式	田辺市・川湯温泉	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
	下旬	那智の滝ライトアップ	那智勝浦町 ・那智の滝	熊野那智大社 0735-55-0321

イベント情報(1月11日～2月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
1/11 ほか	成人式	県内各地	県青少年男女共同参画課 073-441-2500
1/12	天狗祭	由良町・興国寺	興国寺 0738-65-0154
1/14 1/15	卯杖祭	和歌山市・伊太祁曽神社	伊太祁曽神社 073-478-0006
1/15	小豆粥占い	橋本市・隅田八幡神社	隅田八幡神社 0736-32-0188
1/18	仙人風呂感謝祭 ・かるた大会	田辺市・川湯温泉	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
1/18	天野の御田祭	かつらぎ町・ 丹生都比売神社	丹生都比売神社 0736-26-0102
1/25	すいせん祭	由良町・ 県立白崎青少年の家	県立白崎青少年の家 0738-65-2351
1/25	初天神	和歌山市・和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769
1/27	一足早い節分、 豆まきや餅まき	那智勝浦町・補陀洛山寺	補陀洛山寺 0735-52-2523
1/31	まぐろ祭	那智勝浦町・ 勝浦漁業協同組合	那智勝浦町観光協会 0735-52-5311
1/31	本州最南端の火祭り ・望楼の芝焼き	串本町・潮岬	串本町観光協会 0735-62-3171
2/1	紀州口熊野マラソン	上富田町	同実行委員会 0739-47-0550
2/6	お燈まつり	新宮市・神倉神社	新宮市観光協会 0735-22-2840
2/8	針供養	和歌山市・淡嶋神社	淡嶋神社 073-459-0043



県立白崎青少年の家は、南紀最大規模の野生種スイセン群生地を有しています。
園内に10万株以上植えられたスイセンの中でも、特に八重咲きのもは、香りもよく冬の寒さの中で可憐に咲く花を見ようと毎年大勢の観光客が訪れます。
すぐ近くの白崎海洋公園にも移植が行われ、海洋公園でもスイセンを楽しむことができます。

自然・風物情報(1月中旬～2月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
1月中旬	キンカン収穫始まる	串本町・大島	J A 紀南 0739-23-3450
1月中旬	巨大張り子の登場	田辺市・川湯温泉	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
1月中旬	人気者クマのベニー冬眠	和歌山市・和歌山城公園	和歌山城整備企画課 073-435-1044
1月中旬	「蔵出しミカン」初出荷	海南市・下津町	J A ながみね蔵夢選果場 073-492-1235
1月下旬	スターチスの出荷最盛期	御坊市	J A 紀州中央 0738-22-2480
1月下旬	熊野古道に コセリバオウレン	田辺市・中辺路町	中辺路観光協会 0739-64-0501
1月下旬	潮干狩り解禁	那智勝浦町・浦神湾	那智勝浦町観光協会 0735-52-5311
1月下旬	ニホンスイセン見頃	串本町・檜野崎灯台周辺	串本町観光協会 0735-62-3171
		由良町・ 県立白崎青少年の家	県立白崎青少年の家 0738-65-2351
1月下旬	アオノリの天日干し	有田市・有田川河口	有田箕島漁協 0737-83-5555
2月上旬	ひなめぐり	海南市	海南ひなめぐり実行 委員会 080-3840-0740
		那智勝浦町	南紀勝浦ひなめぐり実 行委員会 070-5545-8195
2月上旬	県庁で紀州雛がお出迎え	和歌山市・県庁	県子ども未来課 073-441-2492
2月上旬	ハウスのいちご狩り始まる	紀の川市・貴志川町	貴志川観光いちご狩 り協会 0736-64-7212
2月上旬	梅林オープン	みなべ町・ 南部梅林、岩代大梅林	みなべ観光協会 0739-72-4949
		田辺市・紀州田辺梅林	紀州田辺観梅協会 0739-26-9929
2月上旬	バイカオウレン咲き始める	田辺市・熊野古道沿い	熊野本宮観光協会 0735-42-0735



県産スターチスは、全国一の出荷量(平成25年産)を誇ります。この花の特徴は、家庭用から業務用、花束用からフラワーアレンジメント用と幅広く活用できるところにあり、また、ドライフラワーの代表的な花としても知られています。

出荷量…和歌山県：60,400(千本)、全国：118,600(千本)

～編集後記～

あけましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

年末年始の休暇は9日間と、私もゆっくりと過ごすことができました。リフレッシュできましたので、気持ちも新たに職務に当たりたいと思います。

今年は県内で大きなイベントが相次いで開催されます。いよいよ本県にとってビッグイヤーの幕開けという気持ちです。

記事の中でもお知らせしましたが、高野山開創1200年という記念の年であり、県外はもとより、海外からの観光客も多く来られることが期待できます。

7月には高校総体が、そして、いよいよ「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」が9月から10月にかけて開催されます。アイスホッケー競技の県代表チームが33年ぶりに近畿ブロックの予選突破と幸先のよいスタートが切れましたので、他の選手の刺激となり、勇気も与えてくれたことと思います。もちろん、皆さんの御声援が選手の大きな力となりますので、今後も御支援をよろしく願いいたします。

さらに、串本沖で沈んだトルコ軍艦エルトゥールル号が題材の映画「エルトゥールル」(仮題)が来年の正月映画として公開が予定されているため、串本町では撮影が始まっており、また、来年のNHK大河ドラマ「真田丸」の撮影も県内で進められることとなります。

新年号ということで、上記のビッグイベントをはじめ、今年の県内の主な行事を載せさせていただきました。まさに、今年は、和歌山県にとって和歌山の魅力を国内外に大きくPRする絶好の一年となりますので、皆さんにも今からご計画いただき、見どころいっぱいの中和歌山に是非お越しいただきたく、お待ちいたしております。

12月から厳しい寒さが続きますが、暦の上では、これからが一年で最も寒い時季となりますので、お体にはくれぐれもお気を付けください。

今年も、どうぞよろしく願いいたします。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2015年(平成27年) 1月 NO.81

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022